

2015 年度秋学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	看護学科	科 目
-----------	------	-----

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

アンケート結果について

看護学部看護学科の対象科目は 8 科目 11 クラスであり、対象科目の全てで実施され、回答率は 94.1%であった。

評定平均値については、項目別では「授業のレベル(Q9)」がやや高いが、それ以外は全学平均と同様の傾向を示した。科目別では、複数教員が担当する演習を中心とした科目においては、評定平均値が高い傾向にあった。

DWCLA10 では、「思考力」、「分析力」の選択率が全学選択率よりも高く、演習を中心とした科目では、「コミュニケーション力」、「思いやる力」の選択率も高かった。一方、「創造力」、「プレゼンテーション力」、「自己実現力」「リーダーシップ力」は低かった。

時間外学習時間（時間加算期待値 h/w）は、平均 0.69（範囲 0.48～1.12）であり、全学平均とほぼ同じであった。また、「授業のレベル」と時間外学習時間との関連もみられなかったが、事前事後学習の課題が多い科目は、必然的に時間外学習時間も多かった。

今後の改善について

次年度も教員と学生が授業アンケートの意義を理解し、授業アンケートを実施できるようにする。また、各科目で涵養できる DWCLA10 について検討していくと共に、「創造力」「プレゼンテーション力」「自己実現力」「リーダーシップ力」の育成についても教育活動全般としてとらえると共に授業方法等の工夫も必要と考えている。

各科目の授業担当者においては、集計結果を十分に分析し、さらに授業のレベルを上げること、また、時間外学習時間についても、授業支援システム「マナビー」の活用によって効率の良い予習・復習につながる工夫も必要と思われる。

学科としては、引き続き教員の FD 研鑽のための環境整備に務めていきたい。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。